



サマーラからのお客様

言葉をつなぐ、その先で

—12月6日の交流会に参加して—

12月6日、私はロシアの方々と
の交流会に参加しました。待
ち合わせの駅に
着いたとき、少し緊張している
自分に気づきました。人々が慌
ただしく行き交う



隅田公園にて

中で、異なる文化や背景を持つ人々と一日を共にするのだ
と、あらためて意識していました。

自己紹介を交わしたあと、ロシアの方々からおみやげをい
ただきました。サマーラの町のシールやメモ帳、アリオンカ
ちゃんのチョコレート、そしてルーブル紙幣。初めて手に取
るルーブル紙幣の感触に、遠い国が急に現実のものとして近
づいた気がしました。これまで資料や写真で見てきたロシア
が、目の前の人々の生活と結びついたものとして感じられた
瞬間でした。

最初に訪れた墨田公園では、屋台で軽食をとりながら、そ
れぞれの出身地の話や、ロシアと日本におけるクリスマスや
新年の過ごし方について語り合いました。ロシアの方は「冬
はとても寒い」と言いながら、雪に覆われた町の写真を見せ
てくれました。画面越しに見る雪景色は静かで、日本の冬と
は違う時間が流れているように感じられました。

その後、日本庭園を見学し、神社を訪れました。一緒にお
みくじを引き、絵馬に願い事を書くお手伝いをしました。言
葉を補い合いながら進むやり取りは、決して流暢ではありま
せんでしたが、その分、一つひとつの行動に気持ちがこもっ
ていたように思います。夕方になると東京スカイツリーへ向
かい、ソラマチを見て回りました。アニメショップで足を止
めるロシアの方々の姿から、日本の現代文化が国境を越えて
受け取られていることを実感しました。最後に展望台から眺
めた東京の夜景はきらびやかで、参加した全員がしばらく見
入っていました。

私は大学で約1年半、第二外国語としてロシア語を学びま
したが、今回の交流会を通して、まだまだ勉強不足だと感じ
ました。それでも、完璧でなくとも、伝えたい気持ちがあれ
ば言葉をつなぎ合わせて理解し合えること、一生懸命に伝え
合おうとする姿勢こそが国際交流の原点なのだと感じまし
た。

今回の交流会は、ロシアを遠い国ではなく、顔の見える
人々のいる国として感じさせてくれる、温かく貴重な時間で
した。このような機会を設けてくださった日ロ交流協会の皆
さま、ならびに関係者の方々に、心より感謝申し上げます。
今回の出会いが、それぞれの心に静かに残り、日ロの相互理
解を支える一助となることを願っています。

(池野谷 萌)

ロシア人との遠足に参加して

中島さんから声をかけてもらい、12月6日、東京観光中の
ロシア人団体に中島さんと学友とともに同行した。さまざ
まな年代の方がいた。二十代～四十代ほどだろうか。なお
私は翌日ロシア語の試験を控えていたのだが、学友がその
ことを早々に皆にバラしてしまったため、私はいじられた
りしながらの観光となった。

参加したロシア人は6人。同行者は中島さんと私含め大学
生3人。私たちはロシア語を1年半ほど学んでいるのだが、
実際に話す機会は大学の授業で学生同士やロシア人の先生
と話すだけで、ロシア語を話すことには慣れていなかった。

まず散歩した隅田公園では、ロシア人の皆さんが昼食前
だったこともあって屋台で飲み食いしたり、庭園の前で写真
を撮ったりした。隅田公園にある神社（牛嶋神社）も訪ね、
ロシア人の皆さんは興味津々の様子。引いたおみくじを私た
ちが苦心して訳したり、絵馬にはキリル文字も追加されるこ
とになった。

その後、東京スカイツリーの麓（？）の商業施設「ソラマ
チ」へ買い物に。ソラマチに向かって歩いている時、ある家
の前に地元の老婦人が出てなにやら用事をしており、そこを
通りかかろうとしたときにロシアの女性が明るく話しかけた。もちろ
んロシア語なので、私たちが中島さんに助けてもらいながら
拙くも通訳を試みたりするのだが、その方の笑顔が地元の老
婦人にも通じ、結局お互いに何やらプレゼントを渡してい
た。ロシアでは通りがかりの人とここまで仲良くなるものな
のか？ そうだとすれば、他人に無関心な東京よりずっと心
地よいだろう。

ここで一人加わりソラマチで私は一人の男性と一緒にまわ
ることになったのだが、大学について部活動について、ある
いはロシアと日本の食や生活についてなど、ロシア語でのコ
ミュニケーションを精一杯図ることができた。なお翌日の試
験に向けロシア語を口にする心理的なハードルはかなり低く
なったが、格変化等が正しくないブローケンなロシア語でも
通じてしまっていたため、試験にその感覚で臨むことのない
よう気を付けなければならないと感じた。

最後は再集合してソラマチの30階の展望フロアから東京の
夜景を眺め、再会と日露の友好を約した。皆優しい人ばかり
でとても楽しい一日だった。ロシアと日本は国同士現状友好
関係にあるとはいいいかねる状況かもしれない。しかし、私た
ちが最後に交わした握手、そのぬくもりを忘れないようにし
たい。プレゼントしてもらったロシアのチョコレートを食べ
ながら、そんなことを考えている。 (金田 夏樹)

昨年3月に来日したサマーラからのお客様が、12月にまた
急遽来日すると連絡あり。日本語を習いたてで心もとないの
で、ロシア語の学生との交流を希望。そこでロシア語教師の
中島常任理事にお願いしてロシア語の学生さんにアテンドし
てもらった。お客様は東京を堪能して帰国された。

学生の皆さん、本当にありがとうございました。